

<参考資料>

# 福島第一原子力発電所の緊急安全対策

## 参考資料抜粋 4. 雨水対策

平成25年11月13日  
東京電力株式会社

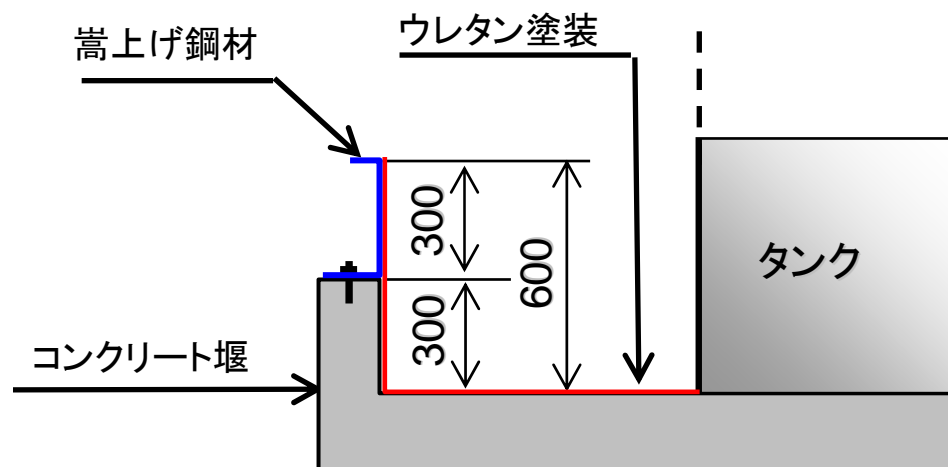
## 参考4-1: 溢水防止（堰の嵩上げ）

- 鋼製板による堰の嵩上げ(応急堰)
  - 汚染レベルの最も高いH4北エリア、基礎に傾斜のあるBエリア及びH1東エリアの堰天端レベルが低い箇所の嵩上げを実施済(高汚染)
  - その他すべてのエリアについても年内に全て完了予定(約30cm嵩上げ計画)
- コンクリート等による堰の更なる嵩上げ(信頼性向上)
  - 現在、詳細設計中。



鋼製板による堰の設置状況(H4北エリア)

鋼製板による嵩上げ状況図



## 参考4-2:雨水流入抑制(タンク上部への雨樋等設置)

### ●雨樋設置により約60%の雨水流入を抑制

- 高線量汚染箇所 (H4北・東の一部) に仮設雨樋設置 (H25.10.24)
- 高線量汚染 (H4北・東,H3,H2南,B南) エリア (~H25.12末日途)
- その他エリアは順次実施予定 (~H25年度末日途)

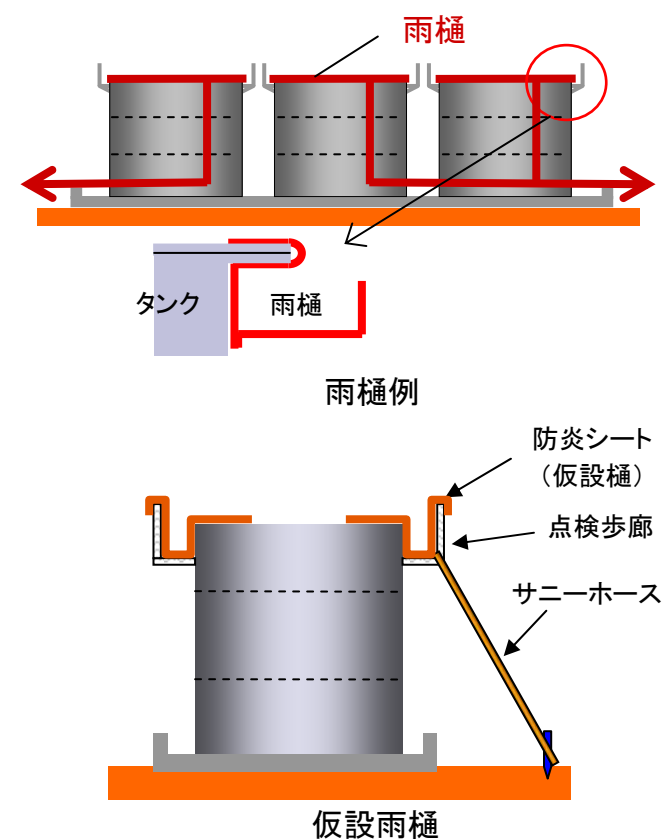


タンク歩廊部



タンク全景

H4エリアタンク仮設雨樋設置状況

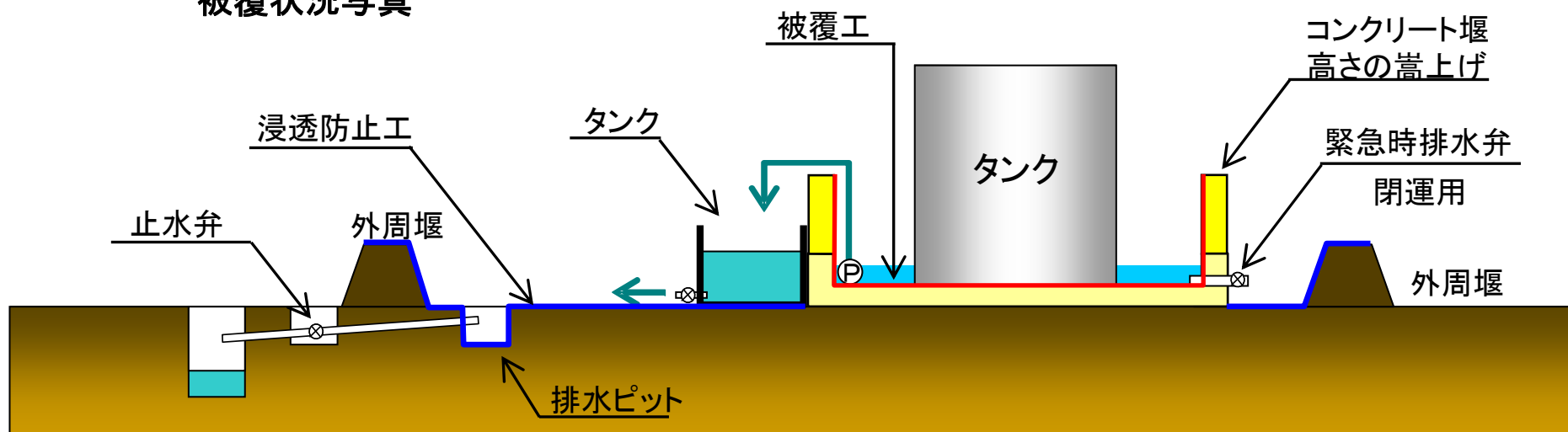


## ●堰内コンクリート面の被覆、土堰堤内地表面のフェーシング (今年度末目途)



被覆状況写真

- ・堰内のコンクリート面を被覆し、防水性を向上
- ・土堰堤～コンクリート堰間は雨水の地中浸透防止のためコンクリート等によりフェーシング施工  
(現在、工程を検討中)

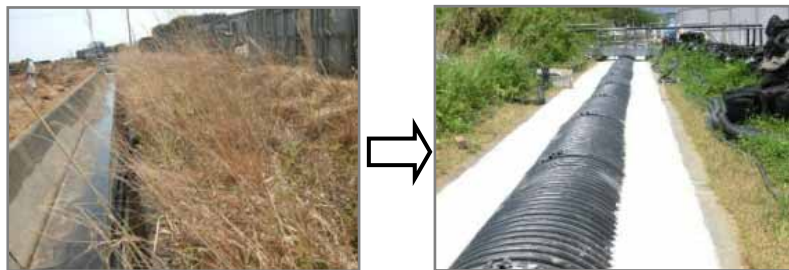


## ●万が一土堰堤式防液堤からの流失に備え、B排水路の暗渠化を実施(年内)

- タンクなどの汚染水貯留設備からの流入が考えられるB排水路を約1300mを暗渠化
- 暗渠化は排水路に蓋がけするなどの方法により計画
- 排水路へ汚染水が流入した場合に閉止できるように、排水路内に止水ゲートを3ヶ所設置



C排水路の暗渠化状況



暗渠化前

暗渠化後

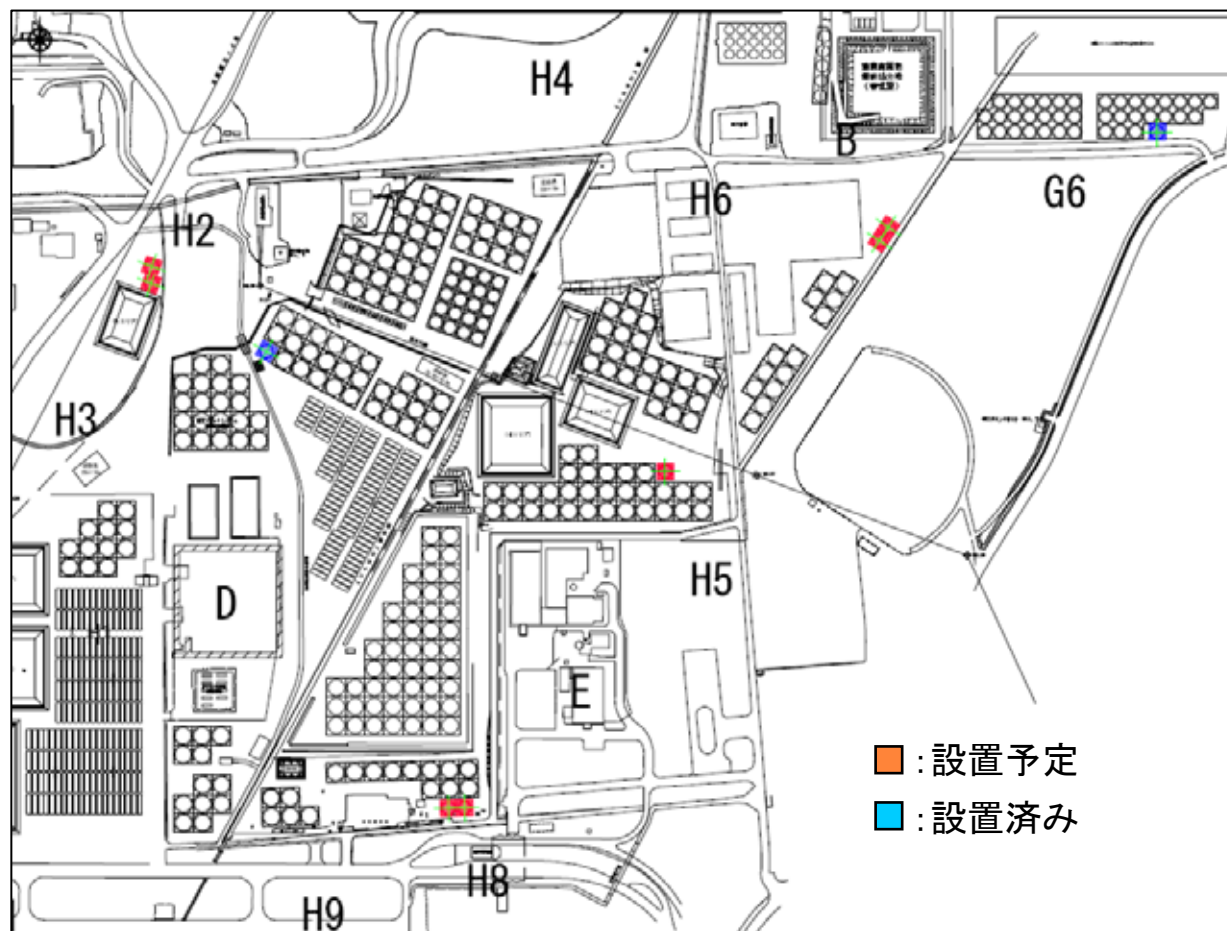
## ● 堰内溜まり水の排水を適切に運用するために、雨水の一時受けタンクの増容量を実施

### ● 雨水受けタンクの設置

✓ H2エリア、G6エリア近傍に雨水受けタンクを設置  
(500m<sup>3</sup>級×2基)

✓ さらに、4000m<sup>3</sup>ノッチタンク群エリア、Cエリア、H5エリア、H8エリア近傍に雨水受けタンクを設置予定  
(500m<sup>3</sup>級×7基)【年内】

✓ 上記雨水受けタンクの増容量にあわせて、排水設備(ポンプ、ホース)の更なる増強【年内】



雨水受けタンク設置場所(予定)